

雑誌掲載論文内報

下記のとおり掲載論文目次をあらかじめ内報いたします。御覧の上、貴社製品の関係ある論文がございましたら、広告掲載にご利用くださるようお薦め申し上げます。

(株) 医学書院 販売・PR部 TEL 03-3817-5696

誌名 medicina (月刊)

巻号	第 62 卷 第 07 号	2025 年 6 月号	
発行	B5 判	17,500 部	オフセット
広告締切	2025 年 04 月 17 日		
発行予定	2025 年 06 月 09 日		

※広告料金の詳細につきましては、お申し込み先の広告代理店にお問い合わせください。

区分	論文題名	執筆者名	所属
特集	特集／精神科×内科—患者と家族を支えるために知っておきたい見えない“こころ”的こと	明智 龍男	名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野
	第1章 患者心理を知る	神庭 重信	飯田病院
	病気や臓器を診るのではなくヒトを診る、とはどういうことか？	岩満 優美	北里大学大学院医療系研究科 医療心理学研究室
	そもそも感情とは何か？どういうときには不安、抑うつを感じ、そして怒るのか？	山田 真希子	量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所
	楽観性の科学：“何とかなるさ”の落とし穴	平井 啓	大阪大学大学院人間科学研究科
	行動経済学から患者心理を読み解く：なぜ患者は合理的な判断ができないのか？	堀越 勝	武蔵野大学 客員教授
	病人の心理	倉田 明子	広島大学病院 緩和ケアチーム
	終末期のこころ：不安、抑うつ、否認	名越 泰秀	京都第一赤十字病院 精神科（心療内科）
	第2章 患者心理を理解し診療に活かす	古郡 規雄	獨協医科大学 精神神経医学講座
	薬剤とプラセボ効果：患者医療者関係が目に見えない力を与える	和田 周平先生、池田 匡志	名古屋大学大学院医学系研究科精神医学
	非精神科医が処方できる抗うつ薬、抗精神病薬	藤森 麻衣子	国立がん研究センター がん対策研究所 サバイバーシップ研究部
	精神科との併診に際しての留意点	内富 庸介	東京慈恵会医科大学 がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座
	内科医にもできる心理療法の TIPS：支持的なコミュニケーションスキル	鈴木 伸一	早稲田大学人間科学学術院
	内科医にもできる心理療法の TIPS：がん告知に際してのスキル（SHARE）	藤澤 大介	慶應義塾大学病院精神・神経科
	内科医にもできる心理療法の TIPS：行動活性化	坂田 昌嗣	名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座
	内科医にもできる心理療法の TIPS：問題解決療法		
	内科医にもできる心理療法の TIPS：不眠に対する行動療法		
	内科医にもできる心理療法の TIPS：ACT	光定 博生	横須賀共済病院 精神科
	第3章 特定の疾患や状況への対応		

	うつ病	伊賀 淳一	愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学
	不眠症	井上 真一郎	新見公立大学 健康科学部看護学科
	統合失調症	藤原 雅樹	岡山大学大学院精神神経病態学教室
	神経性食思不振症	小川 晴香	名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野
	器質因がはっきりしない身体疾患患者への対応：慢性疼痛を例に	富永 敏行	京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学
	依存症者の心理：孤独と寂しさと絶望	成瀬 暢也	埼玉県立精神医療センター
	認知症：背景にある不安を知っておくことの大切さ	谷向 仁	名古屋市立大学大学院看護学研究科 精神保健看護学
	せん妄（低活動型）：うつ、認知症とのどこが違うのか？	小川 朝生	国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科
	コラム：精神科への受診が望ましいが患者の同意が得られないとき	西村 勝治	東京女子医科大学 神経精神科
	第4章 終末期の患者とのかかわり方		
	ACP をめぐって	長谷川 貴昭	名古屋市立大学 医薬学総合研究院 緩和ケアセンター
	家族・遺族ケア	瀬藤 乃理子	福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座
	患者の気持ちを考えながら治療をすること—終末期の輸液を題材に	森田 達也	聖隸三方原病院
	がんを経験するということ-医療者に求めたいコミュニケーションと態度	天野 慎介	全国がん患者団体連合会
連載	日常診療で役立つ 皮膚科治療薬の選びかた・使いかた 知らないとヤバい！ リウマチ・膠原病のアレやコレ 明日から実践できる！ 臨床医のための腎臓領域超音波 (Nephro POCUS)	松田 光弘 猪飼 浩樹 吉田 圭佑・谷澤 雅彦	中部ろうさい病院 リウマチ・膠原病科 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科
	ここが知りたい！ 欲張り神経病巣診断	難波 雄亮	難波メディカルクリニック
	目でみるトレーニング		

特記事項

※冊子制作の都合上、発行予定日、掲載内容、および執筆者を予告なく変更する場合がございますことをご了承ください。確定内容につきましては、弊誌編集室へ直接お問い合わせください。